

平成29年度 第3回大阪府立泉南支援学校「学校協議会」

《 日時 》 平成30年2月8日（木） 10:00～12:00

《 次第 》

1、校長あいさつ

2、協議 「わかりやすい授業の工夫について」

- *児童・生徒のできることに違いがあるため、一人ひとりの達成目標が違うということを教員が理解しないといけないし、教員同士共有が必要である。
- *個人の実態把握をしたうえで個人に合った目標をたてていくことが、学校卒業後、企業や福祉事業所等、働く場での支援の仕方につながる。
- *その人に合った教育課程を考えていくことが重要だ。
- *教員は知識を教えるのではなく、考える力を伸ばしていくことが重要である。それが児童・生徒が学ぶ生きる力にもつながる。
- *教員は、自分の授業が児童・生徒にとってわかる授業なのか、考えないといけない。児童・生徒ができないのは教員の教え方のせいと捉えた方がよい。
- *＜各学部の取り組みの説明＞
 - ・小学部…学力だけでなく、概念的なことも含め、いろいろな方法で学ばせようとしている。（たとえば「はんぶんこ」等）
 - ・中学部…小学部から積み上げてきたものを高等部につなげる役割が大きい。自立できるため、生きていくための力を各教科で学んでいる。（たとえば調理や縫い物、洗濯、木工、買い物練習、等）
 - ・高等部…3年後には社会に出る、という視点で少しでも自分でできるようすすめている。

3、報告

- ・平成29年度学校経営計画達成状況（案）及び、平成30年度学校経営計画（案）の報告
- ・平成29年度学校教育自己診断について
- ・校則の見直しについて
- ・防災研修報告（避難所、避難訓練、防災教育を報告のキーワードとして）
- ・平成29年度進路指導の進捗状況について
- ・学校運営協議会の概要説明

4、意見交換、まとめ

5、校長あいさつ